

真鶴町 土砂災害ハザードマップ

我が家の防災メモ (災害時の主な連絡先)

避難(集合)場所	
避難所	
緊急連絡先(親戚・知人等)	

防災行政無線の放送内容をもう一度聞きたいときは、0465-69-1890で聞くことができます。

真鶴町

情報 安否情報の登録・確認

災害時の声の伝言板 171 災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れなくなる方が多くいます。そんなときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビ・ラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法 171→1→0465→自宅の電話番号 案内放送が流れます。 市外局番が必要です。
再生方法 171→2→0465→自宅の電話番号 案内放送が流れます。 市外局番が必要です。

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話のほかに公衆電話、携帯電話及びPHSからも利用できます。

災害用伝言板への安否情報登録及び確認方法

登録方法
①Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択 → ②「登録」を選択 → ③「無事です」等の状態の選択と100文字以内のコメントを入力 → ④「登録」を押して完了

確認方法
①Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択 → ②「確認」を選択 → ③安否を確認したい人の携帯電話番号を入力 → ④「検索」を押して伝言を確認

NTTdocomo <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
au(KDDI) <http://dengon.auweb.ne.jp/>
SoftBank <http://dengon.softbank.ne.jp/>

PHSやパソコンなどからも伝言が確認(災害時のみ)できます。 ※詳しくは、各携帯電話会社にお問い合わせください。

準備 非常持ち出し品チェックリスト

準備が出来たら
チェックを入れよう!

携帯ラジオ 地震や嵐などのうわさには惑わされず正しい情報を得るため、小型で軽くFMとAMの両方が聴ける携帯ラジオとその予備電池を忘れずに。	飲料水・食料 食料は火を逃さなくとも食べられるものを水はミネラルウォーターなどを、乳幼児がいる場合は粉ミルクなどを忘れずに。	生活用品・衛生用品 ライター、缶切り、ティッシュ、ビニール袋、携帯トイレ、マスク、生理用品などを、乳幼児がいる場合は哺乳瓶などを忘れずに。
ライト・ろうそく 停電時や夜間の移動に欠かせないライトと予備の電池を、ろうそくは火をつけて安定のよいものを忘れずに。	救急薬品・常備薬 ばんそうこ、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、白濁、ピルセットなどを、持病のある方は常備薬を忘れずに。	衣類 上着、下着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなどを、乳幼児がいる場合は寝かぶなどを忘れずに。
ヘルメット(防災ずきん) 屋根瓦や看板などの落下物から頭を守るためのヘルメット(防災ずきん)などがあると便利。	現金 現金は、紙幣と硬貨の両方を持っていると便利。	通帳類・証明類・印鑑 預金通帳、健康保険証、免許証、住民票の写し、印鑑などがあると便利。

持ち出し袋の中身は、定期的に点検を。 せっかく揃えた持ち出し品も定期的な点検しないと使い物にならない場合があります。ラジオの電池や缶詰の賞味期限など半年に一度くらいは点検しましょう。

非常持ち出し品のほかに、災害復旧までの「備蓄品」を家族全員3日分を用意しておきましょう。飲料水は一リットル、食料は一人3日分、乳幼児がいる家庭では、粉ミルクや母乳液を3日分備蓄しておきましょう。

●お問い合わせ 真鶴町 総務防災課 防災係 〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1
2023年発行 電話番号 0465-68-1131 (代)

知識 土砂災害とは?

土砂災害

土砂災害とは、台風や集中豪雨による長雨・大雨・豪雨又は地震を原因として発生する「急傾斜地の崩壊(崖崩れ)」、「土石流」、「地滑り」のことをいいます。土砂災害は予想が非常に難しく、発生した場合は被害が大きいことがあげられます。

土砂災害の種類と特徴

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。

土石流



山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されます。流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmの速度で一瞬のうちに人家や畑などを破壊します。

地滑り



斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象です。一般的に、移動する土の塊の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。真鶴町には対象がありません。

前兆現象

・がけにひび割れができる
・小石がパラパラと落ちてくる
・がけから水が湧き出る
・湧き水が止まる
・湧き水が濁る
・地鳴りがする

前兆現象

・山鳴りがする
・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
・腐った土の匂いがする
・雨が降り続いているのに川の水位が下がる
・立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

前兆現象

・地面がひび割れたり陥没したりする
・がけや斜面から水が湧き出す
・井戸や沢の水が濁る
・地鳴り・山鳴りがする
・樹木が傾く
・亀裂や段差が発生する

警戒区域の指定

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

情報 災害時の情報入手方法

町では気象警報や避難情報などを、次の方法で情報配信を行っています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。町民の皆さまも、複数の手段を活用して情報入手してください。

防災行政無線	屋外スピーカーを通じて緊急情報等をお知らせします。
防災行政無線 自動応答サービス	24時間以内に放送された防災行政無線の内容が電話で確認できます。放送内容を確認したい場合は電話で確認ができるテレホンサービスをご利用ください。 ☎0465-69-1890(通話料がかかります。)
全国瞬時警報システム(J-ALERT)	国が発信する緊急地震速報などを、防災行政無線を使って自動起動することにより、人手を介さず瞬時に住民等に伝達するシステムです。放送される緊急情報にご注意ください。
緊急速報「エリアメール」	避難勧告の発令、土砂災害警戒情報などの緊急性の高い情報を、町内に存在する携帯電話(スマートフォン)に一斉送信いたします。
テレビのデータ放送・ラジオなど	避難勧告の発令、土砂災害警戒情報などの緊急性の高い情報入手できます。

知識 大雨警戒レベルの目的・概要

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5 命を守る行動	既に災害が発生している状況です。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔町が発令〕
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令 〔町が発令〕
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始 〔町が発令〕
警戒レベル2 避難方法確認	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕
警戒レベル1 気象情報注意	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 〔気象庁が発表〕

真鶴町土砂災害ハザードマップ

土砂は一気に襲ってきます。
前兆現象を察知して、早めに避難しましょう!

